

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
政治・経済	3	A B C D E F	2	必履修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	政治・経済（第一学習社）
使用教材等	最新政治・経済資料集2025（第一学習社）、政治・経済ノート（第一学習社）

科目の目標

学習目標	【知識及び技能】 ・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。
------	--

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	単元名 現代日本における政治・経済の諸課題 【知】 ・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治などについて、現実社会の諸事象を通して理解する。 【思】 ・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。 【態】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	【政治分野】指導事項 1節 日本国憲法と現代政治のあり方 ・民主政治の成立 ・日本国憲法の制定と基本原理 ・基本的人権の確立、保障 ・平和主義 ・世界の政治体制 ・国会と立法 ・内閣と行政 ・裁判所と司法 2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 ・地方自治 ・政党政治と選挙 ・教材 教科書、資料集、ノート	【知】 ・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治などについて、現実社会の諸事象を通して理解している。 【思】 ・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
2	単元名 現代日本における政治・経済の諸課題 【知】 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みなどについて、現実社会の諸事象を通して理解する。 【思】 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【態】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	【経済分野】指導事項 3節 市場経済の機能と限界 ・国民所得と経済成長 ・物価と景気変動 ・市場の失敗と公害・消費者問題 4節 持続可能な財政および租税のあり方 ・財政のしくみと租税の意義 5節 金融を通じた経済活動の活性化 ・金融のしくみとはたらき 6節 経済活動と福祉の向上 ・日本経済の変化と現状 ・労使関係と労働問題 ・社会保障制度と福祉のあり方 ・教材 教科書、資料集、ノート ・一人1台端末の活用 等	【知】 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みなどについて、現実社会の諸事象を通して理解している。 【思】 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【態】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
3	単元名 現代日本における政治・経済の諸課題 【知】 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みなどについて、現実社会の諸事象を通して理解する。 【思】 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【態】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 第2章 現代日本の諸課題の探求 ・少子高齢社会における社会保障 ・多様な働き方・生き方の実現 ・中小企業の意義と課題 教材 教科書、資料集、テキスト ・一人1台端末の活用 等	【知】 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みなどについて、現実社会の諸事象を通して理解している。 【思】 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【態】 ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。